

# 施政方針にみる 新年度の主要施策と 予算のあらまし

## 生涯にわたり夢を育むまち

**教育環境を整える**

① **幼児・義務教育を充実する**

- ・新教育課程研究推進事業外 ……191万円
- ・教育研究所経費 ……130万円
- ・コミュニティ・スクール推進事業 ……59万円
- ・命を守る教育推進事業 ……47万円
- ・キャリア教育推進事業 ……132万円
- ・子どものちから応援事業 ……93万円
- ・心いきいき推進事業 ……966万円
- ★いじめ・暴力問題等防止対策推進事業 ……363万円

▷学校第三者評価活動外

- ・国際理解教育推進事業 ……[再掲 1,935万円]
- ・中学生海外派遣事業 ……[再掲 133万円]
- ・コンピュータCAI研究奨励事業 ……221万円
- ・情報教育推進事業 ……[再掲 7,901万円]
- ・地域サポート安全対策事業 ……[再掲 153万円]
- ・読書指導の振興と図書整備事業 ……502万円
- ・幼稚園預かり保育事業 ……3,610万円

▷10幼稚園で実施、保育時間終了時から午後6時まで

▷早朝及び長期休業日の預かり保育の実施

- ・幼稚園未就園児保育事業 ……46万円
- ▷未就園児(3歳児)親子を対象とした体験保育
- ・放課後子ども教室推進事業 ……262万円
- ・多子世帯保育料軽減事業 ……48万円
- ・学校給食モニタリング事業 ……24万円

★学校給食標語コンテスト開催経費 ……20万円

▷市内小中学生を対象

- ・大型備品整備事業 ……1,200万円
- ★小学校管理備品等整備外
- ★学校施設安全対策事業 ……3,800万円
- ▷消防用設備等改修外
- ★デジタルテレビ整備事業 ……312万円
- ▷小学校
- ・耐震対策補強事業 ……3億5,750万円
- ・大規模改造事業 ……6億5,970万円
- ・太陽光パネル設置事業 ……2,530万円

- ・坂越中学校整備事業 ……2,500万円
- ★幼稚園舎改築事業 ……2,930万円
- ▷実施設計(赤穂幼稚園、塩屋幼稚園、尾崎幼稚園)
- ・給食センター整備事業 ……1,860万円
- ② **特別支援教育を充実する**
- ・特別支援教育推進事業 ……1,763万円
- ★特別支援教育指導補助員配置事業
- ▷特別支援教育振興事業
- ★特別支援教育ICT推進事業
- ・特別支援教育事業 8幼稚園 ……1,600万円
- ③ **信頼される学校園づくりを進める**
- ・教育委員会だより発行事業 ……31万円
- ・「トライやる・ウィーク」推進事業 ……377万円
- ・環境体験事業 ……175万円
- ・中学生地域貢献活動推進事業 ……40万円
- ④ **若い力を健全に育成する**
- ・青少年健全育成推進事業 ……197万円

**生涯学習・スポーツ活動を推進する**

① **生涯学習を充実する**

- ・生涯学習推進専門員設置事業(1名) ……186万円
- ・子育て学習活動推進事業 ……353万円
- ・公民館活動の充実 ……743万円
- ・高齢者にやさしい公民館づくり事業 ……100万円
- ・耐震診断推進事業 ……1,270万円
- ▷坂越公民館★市民会館
- ・図書館事業の普及 ……3,276万円
- ・公民館整備事業 ……5,657万円
- ★施設整備外
- ・耐震対策補強事業 ……270万円
- ▷実施設計(★尾崎公民館)
- ・市民会館整備事業 ……310万円
- ② **スポーツ活動を推進する**
- ・市民総合体育館及び城南緑地運動施設等管理委託金 ……6,867万円
- ・体育振興事業(体育協会補助金外) ……164万円
- ・スポーツ先進都市推進事業 ……270万円

- ・スポーツ推進計画促進事業 ……28万円
- ・忠臣蔵旗少年剣道大会(第26回) ……230万円
- ・近畿高等学校剣道選抜大会(第8回) ……100万円
- ・赤穂義士杯青少年柔道大会(第8回) ……100万円
- ・赤穂義士旗争奪親善ゲートボール大会(第19回) ……5万円
- ・坂越湾ヨットレース(第5回) ……10万円
- ・赤穂シティマラソン大会開催経費(第4回) ……1,800万円
- ★赤穂市長旗争奪少年野球大会開催経費(第1回) ……40万円
- ・体育施設整備事業 ……733万円
- ・野外活動センター整備事業 ……275万円
- ・尾崎・御崎地区都市再生整備事業 ……[再掲 4億8,500万円]

**個性ある地域文化を創造する**

① **歴史・伝統文化を継承し活用する**

- ・地域文化財調査事業 ……157万円
- ★市史等編さん事業 ……208万円
- ▷図説赤穂市史編さん事業外
- ・文化財保存顕彰事業 ……20万円
- ・文化財普及活用事業 ……175万円
- ・文化財公開活用事業 ……490万円
- ・赤穂城跡整備事業 ……2,710万円
- ・赤穂城跡公園整備事業 ……[再掲 1億550万円]
- ・埋蔵文化財調査事業 ……830万円
- ・文化財施設整備事業 ……2,270万円
- ★沖田遺跡公園屋根葺替外
- ・民俗資料館整備事業 ……430万円
- ・歴史博物館整備事業 ……620万円
- ・海洋科学館整備事業 ……150万円
- ② **文化芸術活動を推進する**
- ・文化会館自主事業助成(文化とみどり財団補助) ……2,323万円
- ・赤穂国際音楽祭開催事業 ……700万円
- ・文化会館整備事業 ……690万円

★印＝新規(拡充)事業(1万円未満四捨五入)

ヤラクター「陣たくん」を活用し、PR活動を積極的に行うとともに、観光ボランティアガイドの育成についても取り組みます。また、日曜日開催となる第111回義士祭についても、一層の充実を図り、積極的に観光客の誘致に努めます。

就労環境の整備については、高齢者就業機会確保事業への助成などを行い、勤労者福祉の増進に努めます。

### 多様な交流の推進

広域連携については、東備西播定住自立圏形成推進協議会をはじめ、西播磨市町長会、兵庫岡山両県隣接市町村地域振興協議会などを通じて、近隣市町村との連携、協力を推進します。

地域間交流については、笠間市及び山鹿市とのスポーツや文化活動などを通じた姉妹都市交流をはじめ、義士祭における忠臣蔵交流物産市の開催や東京スカイツリーでの忠臣蔵サミット都市リレーキャンペーンなどを通じて、全国の忠臣蔵ゆかりの自治体との交流を一層推進します。

国際理解の推進については、国際交流協会設立20周年記念事業の開催などにより、地域の国際化を推進するとともに、小・中学校において、引き続き外国人英語講師3名を配置し、国際理解教育を推進します。

定住の促進については、都市部での定住相談会を通じ「住むの



### 交流基盤の整備

にちょうどいいまち赤穂」の情報を発信するとともに、新婚世帯に対する賃貸住宅家賃の一部助成や、「転入者定住支援金」の交付による定住の促進と市内経済の活性化に努めます。

公共交通の確保と利便性の向上については、定住自立圏共生ビジョンに基づく圏域バス「ていじゅうろう」を運行するとともに、この圏域バスを活用した市内循環バス「ゆらのすけ」の増便を図るほか、地域の実情にあった交通体系についてさらに検討します。

生活道路の整備としては、磯浜橋歩道橋の新設や中洲幹線道路改良工事などを実施するほか、都市計画街路の整備として、赤穂大橋線に係る用地買収・物件移転補償などを実施します。

なお、長期未着手の都市計画道路については、検証方針に基づき、都市計画変更手続きを進めます。

また、国道2号のバイパス建設や坂越大橋を含むバイパス部分など国道250号の改良、交通安全施設の早期整備について、国、県に引き続き要請し、事業の促進を図ります。

### 地域情報化の推進

市内公共施設への光ファイバー整備後の取り組みとして、インターネットなどの活用による、住民や商店等からの積極的な情報発信を促し、住民と行政住民相互の繋がりの拡大を図ります。また、小・中学校におけるインターネットなどを活用した情報教育を推進するとともに、図書館における電子書籍の整備拡大などにより、電子図書館サービスの充実を図ります。

### 第4の柱

## 生涯にわたり夢を育むまちづくり

### 教育環境の整備

教育環境の整備推進については、教育振興基本計画(赤穂教育プラン)に基づき、質の高い教育、人づくりを推進し、子どもたちが「こころ豊かな人間性」と「生きる力」を育むことができるよう総合的・計画的に推進します。

幼児教育の充実については、幼児を持つ家庭や地域との連携

て動く非行防止活動を推進するなど、教育委員会、学校、家庭、地域、関係機関が連携し、地域社会全体で、いじめや非行防止対策に取り組みます。

施設整備としては、尾崎小学校、御崎小学校、高雄小学校及び赤穂中学校における大規模改造工事をはじめ、尾崎小学校、高雄小学校及び赤穂中学校、赤穂西中学校、赤穂東中学校並びに赤穂西幼稚園、御崎幼稚園、坂越幼稚園、高雄幼稚園において、耐震対策補強工事を実施するほか、平成27年度中の市内全小・中学校の耐震化に向け、計画的に実施設計を行います。なお、赤穂幼稚園、塩屋幼稚園及び尾崎幼稚園については、改築に向け実施設計を行います。

また、大規模改造事業と合わせ太陽光パネルを計画的に整備するため、高雄小学校に太陽光パネルを設置するとともに、御崎小学校の実設計を行います。

さらに、デジタル教材等を活用した、新たな授業を展開するため、小学校の教室にデジタルテレビを設置します。

特別支援教育の充実については、発達に障がいのある子どもに対する支援として、特別支援教育指導補助員を増員配置す



るほか、ICT教育推進の一環として、タブレットを活用した体験的な授業づくりを実践するとともに、幼稚園においても加配教諭を配置し、障がいの特性に応じた適切な指導を行います。

また、信頼される学校園づくりとして、コミュニティ・スクールの推進、オープンスクールや「トライやる・ウィーク」推進事業、環境体験事業や地域貢献活動推進事業などを通して、引き続き地域の人々とのふれあいを深め、人的資源を活用した地域に開かれた教育活動を進めます。

若い力の健全育成としては、青少年育成推進委員と連携しながら、地域と協働して啓発活動などに取り組みとともに、不

を深めるとともに、幼児の「生きる力」の基礎を育み、一人ひとりの発達や特性に応じたきめ細やかな教育を推進します。

このため、家庭の教育力を向上させるための施策を総合的に推進するとともに、保育士の確保に努めるなど、保育所、幼稚園での子育て環境の整備を積極的に展開します。

義務教育の充実については、研究校の指定や教職経験年数に応じた研修会等を通して教職員の資質と指導力の向上を図り、教科における基礎的・基本的内容を確実に定着させるなど、教育活動の充実を図ります。

また、社会体験やボランティア活動などを通じて児童・生徒の勤労観・職業観を醸成するとともに、引き続き将来への夢や希望を育むキャリア教育推進事業に取り組みほか、人権教育・道徳教育の充実にも努め、救急救命や防災・防犯教育などを通じて命を守り、自他を大切にすることができるよう態度を育む教育を進めます。

なお、いじめ問題を含めた非行防止のための施策として、「第三者委員会」からの最終提言を受け、学校の組織力の強化や教師の授業力の向上に努めるとともに、子どもたちが主体になっ